

(様式第1号)

エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ISエナジー株式会社				
代表者名	氏名	伊左治佳孝	役職名	代表取締役	
主たる事務所の所在地	〒542-0082 大阪府大阪市中央区島之内1-4-32 ホワイティ島之内5F				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者			
主たる事業の概要	主に一般家庭を対象に沖縄、北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州エリアに小売供給を行っております。				
電力供給量(総量)	10,607	千kWh	電力供給量(長野県)	181	千kWh

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	2020	年度	～	2022	年度	報告対象年度	2020	年度
------	------	----	---	------	----	--------	------	----

3 公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	閲覧場所：本社 所在地：大阪市中央区島之内1-4-32ホワイティ島之内5F 時間：平日10時～18時
<input type="checkbox"/>	その他	

(様式第1号)

4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

弊社の運営管理課において、エコな電源の開拓に向けて現在検討を行っております。

5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

大阪本社

└ ネットワーク営業部（販売業務・顧客開拓業務・問い合わせ及び苦情処理業務）

└ ブロードネットワークス事業部（利用開始後のサポート・資料送付・停電時対応・地球温暖化対策担当）

└ 運営管理課（料金請求業務・資料作成業務・需給管理業務に関する調整）

└ 需給管理業務（株式会社グローバルエンジニアリングへ委託）

(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標等

基準	年度	基礎排出係数	0.000537	t-CO2/kWh
2019	年度	調整後排出係数	0.000510	t-CO2/kWh
目標	年度	目標排出係数	0.000527	t-CO2/kWh
2022	年度	目標削減率	1.86	%
目標設定に関する説明		より環境負荷の低い発電所から電力の調達を行うことで排出係数を削減する。		
第一	年度	基礎排出係数	0.000517	t-CO2/kWh
		調整後排出係数	0.000524	t-CO2/kWh
2020	年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	5.560	千t-CO2
排出係数等の増減理由		顧客数の増加に加え、市場価格高騰により、電源の調達を行いました。緊急対応として行ったこともあり排出係数部分の考慮をしていない為、係数が昨年より増加していると考えられます。		
第二	年度	基礎排出係数		t-CO2/kWh
		調整後排出係数		t-CO2/kWh
	年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由				
第三	年度	基礎排出係数		t-CO2/kWh
		調整後排出係数		t-CO2/kWh
	年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由				

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

現在では市場からの調達率が100%ですが、今後、市場以外からの排出係数の低い電源調達を検討する方針です。

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分		調達する電気の電源構成の割合 (W・h比)					
基準年度	石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%	
	LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	100 %	
2019年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 ()	%	
最終年度における見通し ^{※1}	石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	15 %	
	LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	85 %	
2022年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 ()	%	
第一年度	石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%	
	LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	80 %	
2020年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 (他社から卸売を受け、発電所の特定ができない電気)	20 %	
第二年度	石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%	
	LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	%	
年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 ()	%	
第三年度	石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%	
	LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 ^{※3}	%	
年度	石油火力	%	FIT電気 ^{※2}	%	その他 ()	%	
備考	以前は卸電力取引所からの調達が100%でしたが、市場価格の高騰に伴い、急遽他社電源を調達することとなった為、割合が変更となっております。						

※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

(様式第1号)

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量				再生可能エネルギー源の種類 (内訳)				
					電源	種類別調達量			
	県内分		再生可能エネルギー 電気(FIT電気を除く)	FIT電気					
基準年度	0	千kWh	0	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2019 年度									
最終年度 における 見通し	612	千kWh	32	千kWh	太陽光	612	千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2022 年度									
第一年度	0	千kWh	0	千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
2020 年度									
第二年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
年度									
第三年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ()		千kWh		千kWh
年度									
備考	市場価格高騰によるインバランスの対応に追われており、エコな電源の開拓については現在もまだ検討中となっております。								

(様式第1号)

9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

現在は市場からの調達ですが、エコな電源を開拓し、温暖化対策を行っていく方針です。

【2021/08/16追記】自社の発電設備は保有しておりませんが、再生可能エネルギーによる発電からの電力の調達に努め拡大を図ります。

10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究と取組

電源開拓については当社および所属のバラシンググループにて現在検討しております。

【2021/08/16追記】特になし

11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	特になし 【2021/08/16追記】特になし
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	特になし 【2021/08/16追記】特になし
その他	

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	特になし
第一年度実績	特になし
第二年度実績	
第三年度実績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	オフィスの空調は夏場は28度、冬場は20度へ設定し、ドアを閉めてエアコンの効率をアップ テレワークの導入により、業務に伴う移動を削減
第一年度実績	・社員に対する温暖化防止教育の実施。 ・冷房28度、暖房20度設定。 ・通勤にはバス・電車・自転車などの環境負荷の少ない交通機関を利用するよう推奨。 (マイカー通勤の場合はエコドライブ実践を推奨) ・マイバッグ・マイボトルの持参推奨。 ・リモート勤務の導入 (こちらについては現在実施中の為、今後も継続して行ってまいります。)
第二年度実績	
第三年度実績	

(様式第 1 号)

1 3 自由記載欄

A large rectangular area filled with a light green color, representing a free text field. The area is bounded by a thin black border and occupies most of the page below the header.